



## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社セルシス 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL <https://www.celsys.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 成島 啓  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 伊藤 賢（TEL）03-6258-2904  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年12月期第1四半期の業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	2,401	—	759	—	750	—	684	—
2024年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
		円 銭
2025年12月期第1四半期	22.26	22.24
2024年12月期第1四半期	—	—

（注）2024年12月期は連結業績を開示しておりましたが、2025年12月期第1四半期より非連結での開示としております。そのため、2024年12月期第1四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
		百万円	百万円
2025年12月期第1四半期	7,456	4,967	65.7
2024年12月期	8,156	5,264	63.7

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 4,897百万円 2024年12月期 5,195百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	22.00	—	14.00	36.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年12月期（予想）の第2四半期期末配当金には、東京証券取引所プライム市場上場記念配当10円を含んでおります。

## 3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,504	10.9	1,108	0.3	1,081	△12.0	809	△14.3	26.19
通期	9,079	10.7	2,555	19.0	2,514	10.3	1,744	24.6	56.46

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年1月1日において連結子会社である株式会社&amp;DC3を吸収合併したことにより、当社は2025年12月期より連結決算から単体決算に移行しました。よって、第2四半期（累計）及び通期の増減率は、2024年12月期の連結業績からの増減率としております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期 1 Q	36,271,180株	2024年12月期	36,271,180株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期 1 Q	5,786,681株	2024年12月期	5,385,381株
---------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 1 Q	30,752,897株	2024年12月期 1 Q	32,443,202株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、グローバルで拡大を続けるクリエイターエコノミー市場において、サービス・プラットフォームを開発・提供する事業を展開し、さらなる成長の実現を目指して、収益基盤と経営体制の強化に取り組んでおります。

2023年のUI/UX事業の譲渡による構造改革、2024年の東証プライム市場への上場、そして2025年1月に行った子会社・株式会社&DC3の吸収合併を経て、次の成長に向けた経営体制の構築が完了し、新たに「中期経営計画2025-2027」を策定いたしました。本中期経営計画においては、「クリエイションで夢を広げよう」をビジョンに掲げ、クリエイターエコノミー市場において、作品をつくるクリエイターと、それらを楽しむオーディエンスの活動の道程「CREATOR JOURNEY」をサポートするサービス提供を通じて「一人ひとりの夢がつかぬぐ、もっとカラフルな世界」の創造を目指してまいります。なお、中期経営計画では、期間中のROE30%以上を重要なKPIとして設定しております。

(「中期経営計画 2025-2027」[https://www.celsys.com/files/user/pdf/ir/info/2025/info\\_2025-0214a.pdf](https://www.celsys.com/files/user/pdf/ir/info/2025/info_2025-0214a.pdf))

中期経営計画の策定に伴い、従来の事業セグメントを見直し、これまでイラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の開発・販売を中心とする「コンテンツ制作ソリューション事業」、及び「DC3ソリューション」や「電子書籍ソリューション」から構成されていた「コンテンツ流通ソリューション事業」の2セグメントを、単一セグメントに統合いたしました。これにより、前者を「クリエイターサポート分野」、後者を「クリエイタープラットフォーム分野」と再定義しております。

当社は、これまでクリエイターエコノミー市場の一部の領域において、「CLIP STUDIO PAINT」によるコンテンツ制作支援と、電子書籍・DC3等のコンテンツ流通をサポートするソリューションの提供を行ってまいりました。今後は「CLIP STUDIO PAINT」の収益力をさらに強化しながら、事業領域をクリエイターエコノミー市場全体へと拡大し、制作ソリューションで築いたクリエイターからの信頼や強みと、流通ソリューションで蓄積した資産を活用することで、新たにクリエイタープラットフォーム分野でもサービスを開発・提供し、新たな事業の柱とすることを目指してまいります。

当事業年度におきましても、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力しております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,401,549千円（前年同期比19.4%増）、営業利益は759,159千円（同34.2%増）となりました。なお、前第1四半期は、株式会社セルシス及び子会社・株式会社&DC3の2社による連結決算となっております。

経常利益は、営業外収支として受取利息2,598千円を計上した一方で、自己株式取得手数料8,505千円及び為替差損2,593千円を計上したこと等により750,567千円（同24.1%増）となりました。四半期純利益は、株式会社&DC3の簡易吸収合併に伴う抱合株式消滅差益153,875千円を特別利益として計上し、法人税等219,814千円を計上したこと等により、684,628千円（同23.8%増）となりました。なお、2025年2月14日に開示した通期業績予想に対する進捗率は、売上高が26.5%、営業利益が29.7%となっております。

また当社は、株主還元を重視しており、自己株式の取得については、2022年12月期に10億円、2023年12月期に20億円、2024年12月期に15億円、当第1四半期に5億円と、累計で50億円分を実施しております。あわせて、2025年12月期の1株当たり配当につきましては、プライム市場上場記念配当10円を含めた中間配当22円、期末配当14円を予定しており、年間配当金は合計36円（前年より12円の増配）を見込んでおります。

分野別の売上高は、次のとおりです。

	前事業年度 第1四半期連結累計期間 金額（千円）	当事業年度 第1四半期累計期間 金額（千円）	前年 同期比 （%）
クリエイターサポート	1,671,834	2,056,705	23.0
クリエイタープラットフォーム	339,637	344,843	1.5
合計	2,011,471	2,401,549	19.4

<クリエイターサポート分野>

クリエイターサポート分野は、グラフィック分野で活動するクリエイターの創作活動をサポートする、イラスト・

マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の提供を通じて、コンテンツの制作に関わるサービスをグローバルに展開しております。

主力サービスである「CLIP STUDIO PAINT」は、累計出荷本数が2025年3月に4,980万本（前年同月比28.0%増）に達し、今年の4月には5,000万本を超えました。また、同アプリのサブスクリプションモデルによるSaaSサービス提供のARR（年間経常収益）は、2025年3月に46.3億円（前年同月比34.7%増）となり、過去最高となっております。

当社が注力している、「CLIP STUDIO PAINT」におけるサブスクリプションモデルでのライセンス提供は、利用開始時の価格が抑えられており、ユーザーの導入ハードルを下げるとともに、買い切りモデルに比べて短期的な収益性は限定的です。しかしながら、継続利用による中長期的な安定収益が見込めることから、今後も契約数の拡大に取り組んでまいります。

なお、「CLIP STUDIO PAINT」の2025年第1四半期における月次のチャーンレートは、1月末が4.5%、2月末が4.4%、3月末が5.1%となっております。

「CLIP STUDIO PAINT」は世界11言語に対応しており、出荷の約80%が日本語以外の海外市場向けです。引き続き、売上高及び利用者数の増加を目的に、英語、スペイン語、ドイツ語、韓国語等はもちろんのこと、今後の成長期待が大きい、簡体字中国語、タイ語、インドネシア語、ブラジルポルトガル語に対するマーケティングや決済手段のローカライズ強化も進めてまいります。

当第1四半期では、2025年3月に「CLIP STUDIO PAINT」の売上及び利用者数の底上げを目的に、「CLIP STUDIO PAINT」のメジャーバージョンアップを実施し、Ver. 4.0の提供を開始しました。グローバルで提供開始したVer. 4.0は、多くの反響をいただき、当初計画を上回る売上実績となりました。

Ver. 4.0の最新機能を利用するためには、買い切りモデルのユーザーもサブスクリプション契約、または、新バージョンの優待購入が必要となる提供モデルとしております。これにより、サブスクリプション契約の増加や、既存の買い切りモデルユーザーからの新バージョン購入により収益が伸長し、2025年3月にはセルシスの単月売上が初めて10億円を超えております。

また、同メジャーバージョンアップにあわせて、収益性の向上と継続的なサービス提供を実現することを目的に、買い切り版の価格を改定し、最大8%の値上げも行っています。今後も、定期的なメジャーバージョンアップと、サービスの価値向上に応じた価格改定を行ってまいります。

2025年1月には、サブスクリプションモデルにおける利便性向上及び収益の拡大を目的に、有償の追加サブスクリプションとして、クラウドストレージ容量拡大サービスの提供を開始いたしました。

2025年2月には、「CLIP STUDIO PAINT」がワコムの新製品「Wacom Intuos Pro」にグローバルでバンドルされる形で提供が開始されました。バンドルされた「CLIP STUDIO PAINT」は一定の利用期間後にサブスクリプション契約へ移行するモデルであり、新規契約の増加及び海外ユーザーの獲得が期待されます。

2025年3月に企業・教育機関向け「CLIP STUDIO PAINT ポリウムライセンス」が、新設の学校法人日本財団ドワンゴ学園のオンライン大学「ZEN大学」のカリキュラムに導入され、若年層に向けた認知度やユーザー層の拡大を実現します。なお、ZEN大学の系属校である、学校法人角川ドワンゴ学園が運営する「N高等学校・S高等学校」及び「N中等部」においても、すでに「CLIP STUDIO PAINT」が導入されています。

#### <クリエイタープラットフォーム分野>

クリエイタープラットフォーム分野では、クリエイターサポート分野のコンテンツ制作ソリューションで培ったクリエイターからの信頼や強みと、流通ソリューションにおける資産を活用して、サービスを開発・提供し、クリエイターの創作活動の活性化を図ると共に、事業の拡大を目指してまいります。

当第1四半期では、新規プラットフォームサービスの企画・開発を推進しました。クリエイターエコノミー市場におけるエコシステム、グローバルの業界動向やサービスに関する調査を進めながら、2026年の正式サービス開始をめざして、クリエイター向け新規プラットフォームサービスの企画検討を行い、あわせて、人材確保等の新規サービス開発に向けた組織体制の強化にも取り組んでおります。

また、従来より提供している、「CLIP STUDIO PAINT」の利用をサポートするコミュニティサービスの運営を行いながら、継続的な機能改善を実施して「CLIP STUDIO PAINT」のサブスクリプション契約者の継続利用率向上に努めております。さらに、漫画家志望者と新たな才能を探すマンガ編集者のマッチングを支援するサービス「モチコミonline」等の運営や、機能改善アップデートを実施し、プラットフォームサービスの利用者数の増加に努めました。

なお、流通ソリューションにおいては、DC3ソリューションや電子書籍ソリューションの動作最適化・UI/UX改善を

実施しながら、新規プラットフォームサービスにおける活用の検討を行っております。

2025年3月には、当社が提供するクリエイタープラットフォームサービスの全世界での利用者数は、1,000万人超え（前年同月比17.0%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて699,794千円減少し7,456,863千円となりました。この主な要因は、売掛金が179,199千円、前払費用が122,897千円増加したものの、自己株式取得、配当金の支払い等により現金及び預金が717,793千円、投資有価証券が111,508千円及び関係会社株式が44,915千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて402,337千円減少し2,489,400千円となりました。この主な要因は、買掛金が64,347千円、賞与引当金が67,659千円増加したものの、未払法人税等が503,938千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて297,456千円減少し4,967,463千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が313,998千円増加したものの、自己株式取得により自己株式が499,947千円増加、その他有価証券評価差額金が111,508千円減少したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、65.7%となりました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期業績予想につきましては、2025年2月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今般の米国の関税措置による影響につきましては、当社の事業は、関税の対象外である、物理的な製品の輸出入を伴わないデジタルサービス提供が大部分であり、直接的な影響は受けておらず、通期業績予想に与える影響はありません。

また、当社の海外での事業展開においては、日本円以外の通貨で決済される「CLIP STUDIO PAINT」の売上と、日本円以外の通貨で請求されるサーバー利用料や広告宣伝費があり、売上と費用の変動が相殺されることとなります。したがって、為替の変動に対する利益の変動は軽微であり、通期業績予想に与える大きな影響はありません。なお、海外との取引は、ドルだけではなく、ユーロやウォン等、多くの通貨で行っており、特定の通貨のみの変動も、通期業績予想に与える大きな影響はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,188,846	4,471,053
売掛金	220,827	400,027
製品	18,837	11,861
原材料及び貯蔵品	142,483	142,623
未収入金	323,374	299,976
前払費用	111,979	234,876
その他	45,704	—
貸倒引当金	△154	△85,762
流動資産合計	6,051,898	5,474,655
固定資産		
有形固定資産		
建物	97,094	93,648
工具、器具及び備品	48,563	50,948
有形固定資産合計	145,657	144,596
無形固定資産		
商標権	33,632	32,417
特許権	24,273	23,910
ソフトウェア	905,316	918,849
ソフトウェア仮勘定	46,552	68,937
その他	31,796	32,390
無形固定資産合計	1,041,571	1,076,504
投資その他の資産		
投資有価証券	663,486	551,978
関係会社株式	44,915	—
敷金及び保証金	131,364	131,364
繰延税金資産	77,763	77,763
投資その他の資産合計	917,529	761,106
固定資産合計	2,104,759	1,982,207
資産合計	8,156,658	7,456,863

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,966	132,313
未払金	162,976	118,177
前受金	1,091,638	1,140,019
未払費用	74,199	42,616
未払法人税等	723,354	219,416
賞与引当金	64,064	131,723
その他	196,201	159,997
流動負債合計	2,380,401	1,944,264
固定負債		
退職給付引当金	297,741	312,116
役員退職慰労引当金	192,642	199,972
その他	20,953	33,048
固定負債合計	511,336	545,136
負債合計	2,891,738	2,489,400
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金		
資本準備金	2,500	2,500
その他資本剰余金	6,386,067	6,386,067
資本剰余金合計	6,388,567	6,388,567
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,741,289	4,055,288
利益剰余金合計	3,741,289	4,055,288
自己株式	△4,678,793	△5,178,741
株主資本合計	5,461,063	5,275,115
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△265,744	△377,252
評価・換算差額等合計	△265,744	△377,252
新株予約権	69,600	69,600
純資産合計	5,264,919	4,967,463
負債純資産合計	8,156,658	7,456,863



(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)
売上高	2,401,549
売上原価	980,271
売上総利益	1,421,277
販売費及び一般管理費	662,118
営業利益	759,159
営業外収益	
受取利息	2,598
その他	82
営業外収益合計	2,680
営業外費用	
支払手数料	8,505
為替差損	2,593
その他	172
営業外費用合計	11,272
経常利益	750,567
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	153,875
特別利益合計	153,875
税引前四半期純利益	904,442
法人税、住民税及び事業税	219,814
法人税等合計	219,814
四半期純利益	684,628

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月20日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式401,300株の取得を行っております。

この結果、当第1四半期会計期間において、自己株式が499,947千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が5,178,741千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間（自2024年1月1日 至2024年3月31日）

「当第1四半期累計期間（報告セグメントの変更等に関する情報）」に記載のとおりであります。

当第1四半期累計期間（自2025年1月1日 至2025年3月31日）

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する情報)

当社は従来、「コンテンツ制作ソリューション事業」と「コンテンツ流通ソリューション事業」の2つの事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期会計期間より単一セグメントに変更し、従来の「コンテンツ制作ソリューション事業」を「クリエイターサポート分野」、「コンテンツ流通ソリューション事業」を「クリエイタープラットフォーム分野」としております。この変更により単一セグメントとなることから、前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	173,016千円